

■ 地域の人が利用できる学校図書館の比較

追加資料2

	ながふじ学府	にじの丘学園	川根図書館（川根小併設）
施設管理者	校長	平日：校長 土日祝日：図書館長	学校図書館部分：校長 公共図書館部分：図書館長
職員数	会計年度司書3名 （所属：磐田市立中央図書館）	平日：学校司書1～2名 土日祝日：市立図書館窓口職員1名（市で業務委託している業者）	学校部分：図書館支援員1名（学校所属） 公共部分：図書館長1名（中央図書館長兼務）、係長1名、係員1名、会計年度3名
開館日、開館時間	月～金 9:00～16:30	土日祝日10:00～15:00に地域開放	学校：月～金 時間不定 公共：火～日 9:30～17:30
蔵書数（オープン時） 現在は若干増	学校：20,000冊 公共：5,000冊	全体で約17,000冊（一般向け図書はわずか）	学校：6,000冊 公共：34,000冊
面積	570㎡	約1,000㎡（階段部分含む）	学校：199㎡ 公共：428㎡
学校と公共の区切り	書棚のゾーンを分けている。一般の人でも行き来ができる。	エリア内は区切らず、自由に行き来できる。地域開放時は、エリア外に出入りできないように施錠している。	書架のゾーンを分けており、境目で行き来できる廊下はカウンター前のみ。校舎との境目は自動ドアがあり、電源を職員が制御している。
利用方法等	児童は館内すべて貸出可能。一般利用者は公共分のみ貸出可。市内公共図書館から予約受取可能。市外への相互貸借不可。（相互貸借協定）文献複写不可。（著作権法第31条）	児童・生徒は全員、市立図書館のカードを作り、市立図書館システムの学校版で貸出。 一般利用者也館内すべて貸出可能。	公共図書館機能は不可項目なし。学校図書館の管理システムは公共図書館職員は触れないので、学校の資料貸出の時間が限られる。支援員、教諭、図書委員がいる時のみ貸出可。
利用者数（一般、児童の内訳出せず）	貸出数1日約90～100冊 （1日40～50人くらい）	地域開放時1日30～50人程度	年間 16,590人 （1日57.8人）
構想、コンセプト等	元々「地域に開かれた学校」を目指していた。近隣に「にこっと」があるため公共図書館が新たに欲しかったということではないよう。	市総合計画に「子どもの読書活動推進」の施策を位置づけ、市内小学校への「地域図書館」設置を推進しており、その一環。	建設前の地域住民との話し合いの中で、学校と地域をつなぐことを意識した。
その他	司書教諭が入ることもあるが、基本公共の職員のみで運営する。学校への負担感の配慮から、あまり要望等出せず、連携の幅が限られている。	防犯上・運用上の問題は特にない。	一般的な学校は門を閉めているが川根は解放している。オープンして7年たつが、過去2回不審者事案があった。警察を呼ぶほどではなかったが防犯に気を遣う。学校と公共が同居しているので、電気の子メーターをつけるなどして、学校へ必要な負担金を支払っている。

磐田市ながふじ学府 図書館



瀬戸市にじの丘学園 図書館



夢と地域をつなぐ

「新しい川根図書館」オープン

☎川根図書館 ☎ 53-2289



8月26日、川根小学校北側に併設して「新川根図書館」がオープンしました。公立図書館と学校図書館の同一室内での併設は県内初。子どもをはじめ川根地区の皆さんが利用しやすくなった新しい図書館では「学校と地域をつなぐ図書館」を目指しています。

特徴

県内で初めて、公立図書館と学校図書館が同一室内に併設された図書館。児童は、2つの図書館の本「約4万冊」と触れ合うことができます。地域の方は、学校図書を観覧することができ、休日には、36席ある学校図書館用学習機を利用することもできます。

川根らしさ

訪れる人をおもてなしするため「かわねのすてき」をテーマに、川根小学校児童がSLと桜を描いたシンボルガラスを、玄関上の窓に設置しました。玄関のヒノキの扉から中へ入ると、大井川流域産の木材が森の香りを漂わせ、ゆったりとした読書環境を演出しています。

新コーナー

【おはなしのへや】

ログハウスをイメージして作られた「おはなしのへや」は、丸窓から差し込む光と絵本に囲まれ、幻想的な物語の世

界へと導きます。ここでは、地域のお話ボランティアと子どもたちが接する交流の場にもなります。

【ヤングアダルトコーナー】

新設した中高生向けのヤングアダルトコーナーには「私の選んだ本のある図書館」をテーマに、川根中学校の生徒全員で選んだ本も揃えました。

【視聴覚資料】

新たに視聴覚資料（CDとDVD）を所蔵しました。館内で視聴することもできます。

施設の概要

【延べ床面積】

市立図書館 428㎡、学校図書館 199㎡（計 627㎡）

【蔵書数】

新たに約4,000冊を購入。学校図書館と合わせて約4万冊（市立図書館3万4,000冊、学校図書館6,000冊）。

【開館時間】

午前9時30分～午後5時30分
※9月～10月の木・金曜日は、試行として午後7時まで



市立図書館入り口

小学校からの入り口



市立図書館の「学習スペース」

メルヘンチックな「おはなしのへや」



【お知らせ】

■ 読書通帳「代理記帳サービス」の対象者拡大

読んだ本を記録できる読書通帳について、金谷・川根図書館の中学生以下の利用者が、島田図書館に出向かなくても記帳できる「代理記帳サービス」を実施しています。このサービスの対象を、すべての年齢の利用者に拡大しました。ご希望の人は、金谷・川根図書館カウンターでお申し込みください。

■ 館内視聴覚機器を利用すると便利です

各図書館には、図書館所蔵の視聴覚資料（CD・DVD）を視聴するための機器があります。映画や音楽の鑑賞や資料を借りる前にちょっと内容を見て（聴いて）みたいときにご利用ください。



島田図書館視聴覚ブース

■ パスワード登録で利用できるサービス

図書館でパスワードを登録すると、館内の検索機やインターネットで図書の予約・利用状況の照会など、便利な機能を使うことができます。今年の2月からは、インターネットによる図書の貸出延長も可能になりました。図書カードを持っている中学生以上の人は、登録することができます。ご希望の人は、各図書館カウンターでお申し込みください。

■ 県立藤枝特別支援学校職場実習の実施

島田図書館では、7月8日からの3日間、藤枝特別支援学校高等部2年生の職場実習を受け入れました。実習生は、ICタグや紙芝居の整理などを行いました。今後も実習を受け入れていきます。



紙芝居のチェック作業

【10月の休館日】

島田・金谷・川根図書館共通 / 5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)・28日(水)

【イベント】

■ 読書週間行事「おはなしマラソン」開催

10月27日(火)～11月9日(月)の読書週間に合わせ、読み聞かせなどを行う「おはなしマラソン」を開催します。

【島田図書館】

とき / 10月24日(土) 午前10時～11時30分、午後1時30分～3時

団体 / あすなる、山びこ親子読書会、英語であそぼドキター KIDS、えのころ、紙芝居あったとさ、ゆうゆうクラブ

【金谷図書館】

とき / 10月31日(土) 午前10時～11時30分、午後1時30分～3時

団体 / 島田おはなしの会、おはなしポケット、わたなべ ^{ひいらぎ} 終 (個人)、さくらんぼ、大津お話の会、金谷高校

■ 10月のおはなし会

図書館	開催日
島田	3日(土)、4日(日)※、10日(土)、17日(土)、18日(日)※
金谷	10日(土)※、24日(土)※
川根	15日(水)※、24日(土)※

時間 / 午後2時30分～3時 (※午前10時30分～11時)

■ 金谷図書館展示コーナー

◎アポロン たなごころ (貼り絵など創作品)

とき / 9月17日(水)～10月6日(火)

◎徳川家康の足跡～志戸呂焼と諏訪原城～ (上志戸呂古窯跡と諏訪原城跡の出土品)

とき / 10月8日(水)～10月27日(火)

◎たんぽぽ・みんなの作品展 (油絵・水彩画・版画・工作)

とき / 10月29日(水)～11月17日(火)

とよとび 夏休みに小学生が図書館員を体験! ————— Toshokan Topics

島田図書館では、7月29日・30日、8月5日・6日の4日間、金谷図書館では、7月29日・30日の2日間に「夏休み小学生一日体験図書館員」を実施しました。毎年、子どもたちがわくわくどきどきしながら取り組んでいます。

今回は、市内の小学4年生から6年生の計24人が参加し、図書館員になった小学生たちは、カウンターでの貸し出し・返却、返却図書の整理、本の検索など、図書館の仕事を体験。図書館や本に対する親しみや理解を深めるとともに、利用者としてのマナーの大切さを学びました。

【子どもたちの感想】

- ・図書館の仕事は、思っていた以上に大変だった。
- ・ラベルや分類の意味がよくわかった。

- ・本を保護するフィルムを貼るのは難しいけど、楽しかった。
- ・カウンターに入ることができて、うれしかった。



本の配架



カウンターの仕事